



環境経営レポート2024

報告対象期間：2024年6月～2025年5月

(一部、2025年6月以降の活動も掲載)

VAIO株式会社

発行：2025年 8月 29日



目次

1. はじめに	3
2. 会社概要	4
3. 環境経営理念・方針、環境経営組織	5
4. SDGs への貢献	6
5. カーボンニュートラルを目指して	7
6. 資源循環に向けて	10
7. サイト環境活動	12
8. 製品環境活動	16
9. 生物多様性保全活動	26
10. 環境コミュニケーション	28
11. 環境教育・訓練	29
12. 社会貢献活動	30
13. 環境関連法規制等の順守評価	31
14. 環境マネジメントレビュー	32

1. はじめに

VAIOの誕生は今から四半世紀ほど前、1997年にさかのぼります。ソニー株式会社のパーソナルコンピュータ・ブランドとして登場したVAIO。その製品は、軽量・薄型のモバイル・ノートパソコンを中心としたリーディングブランドとして、世代を超えて世界中の人々に愛されてきました。2014年にソニーから独立してVAIO株式会社となってからも、私どもはその伝統を受け継ぎ、高性能・高品質の製品を北アルプスの麓、長野県安曇野の本社工場を拠点に産み出し続けています。

VAIOの商品は、常に時代の一步先を行くもので、「カッコイイ」こと、「カシコイ」こと、そして「ホンモノ」であることが三点揃わなければならないと思っています。その背後にあるのは、私たちの製品が常にお客様に寄り添い、人生の良き相棒として最高のコンピューティング体験をお届けしたいという思いです。VAIOの美しいデザインと質感、高い性能と快適な操作性、そして長く使えば使うほど感じる品質に対するこだわりと安心感・・・それらをもとにお客様が様々なことに挑戦していくことができれば、私たちも大変嬉しく思います。

VAIOは2014年の設立以来、一貫して環境経営を推進しています。現在では、安曇野本社および本社工場において、国際的な環境マネジメントシステムである「ISO14001」の認証を取得※。気候変動や資源枯渇といった様々な地球環境問題が顕在化する中、環境への取り組みを企業の責任と認識し、事業活動やモノ作りにおいて環境負荷低減を図り、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

私どももパソコンだけにとらわれない、さまざまなイノベーションに挑戦して、皆さまとともに豊かな未来の社会を創れるように努めてまいりたいと存じます。今後とも一層のご支援とご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

※ 登録証番号： JQA-EM7898
登録事業者： VAIO株式会社 本社・本社工場（現：安曇野本社・本社工場）
登録活動範囲： パーソナルコンピュータ製品及びアクセサリ等の設計・開発、製造及び保守サービス



VAIO株式会社
代表取締役
執行役員社長

山野 正樹



JQA-EM7898

2. 会社概要

2025年7月31日時点

会社名	VAIO株式会社		
設立日	2014年7月1日		
代表取締役社長	山野 正樹		
安曇野本社・本社工場	〒399-8282	長野県安曇野市豊科5432	TEL : 0263-87-0810 (代表)
東京本社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル17階	TEL : 03-6420-0960 (代表)
大阪オフィス	〒541-0046	大阪府大阪市中央区平野町2-4-9 淀屋橋PREX12階	
名古屋オフィス	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興証券ビル4階	
福岡オフィス	〒812-0013	福岡県福岡市博多区博多駅東1-18-33 博多イーストテラス1階 Mol.t	
東京開発センター	〒190-0012	東京都立川市曙町1-21-1 いちご立川ビル3階	
URL	https://vaio.com/		
事業内容	PC事業：企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス		
事業年度	4月～3月（2024年度までは、6月～5月）		
資本金	1,552百万円		

	安曇野本社・本社工場	東京本社	その他オフィス	
従業員数	505人	165人	19人	(派遣社員等含む)
延床面積	30,486m ²	1,156m ²	369m ²	
環境責任者	山野 正樹（代表取締役社長）			
環境管理責任者	中村 憲政（社長室 環境推進チームリーダー）			
環境事務局	内田 昌樹、黒岩 浩司、青柳 美穂、高木 一裕、青柳 秀典、泉 泰志、秋山 信一郎、綿貫 剛士、奥原 剛			



3. 環境経営理念・方針、環境経営組織

【環境経営理念】

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、持続可能な社会の実現に貢献します。

【環境経営方針】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及びSDGsの達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化を行い、2030年度にCO₂排出量を2018年度比で50%削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化を推進し、循環型社会の実現を目指します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量を適切に管理します。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

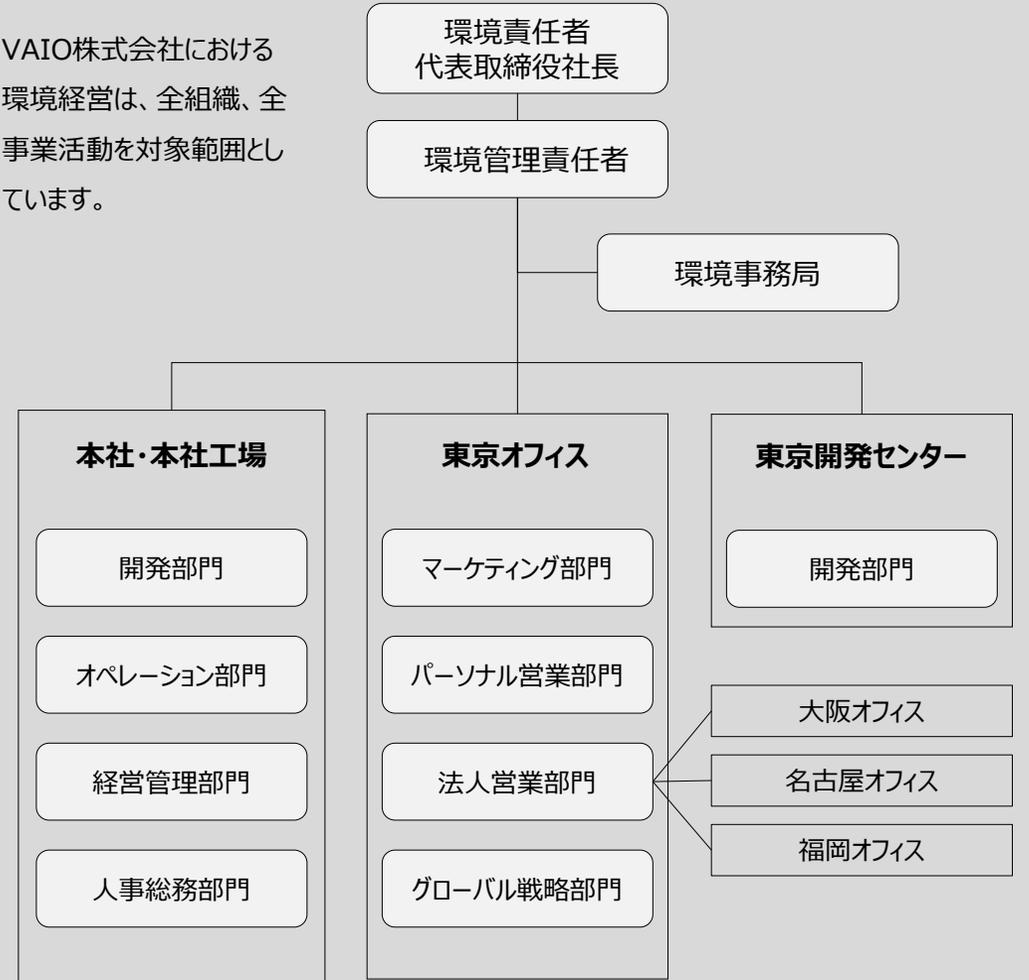
環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。
また、環境経営方針は社外にも公表します。

制定日：2015年1月28日
改定日：2022年5月30日

VAIO株式会社
代表取締役社長 山野 正樹

【環境経営組織】

VAIO株式会社における環境経営は、全組織、全事業活動を対象範囲としています。



4. SDGs への貢献

2024年度は、SDGsの17のゴールに対して、13のゴールに貢献しています。

✓ : 貢献中



	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 成長・雇用	9 イノベーション	10 不平等	11 都市	12 生産・消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実施手段	
気候変動	再生可能エネルギー導入（東京本社、安曇野本社・本社工場）						✓		✓				✓					
	カーボン・オフセット・サービスの提供								✓			✓	✓					
	製品ライフ・サイクル・アセスメントの実施											✓	✓					
	高効率空調機器への切り替え、照明のLED化						✓					✓	✓					
	生産電力の可視化・削減、自動搬送化						✓	✓	✓			✓	✓					
	事務エリアの節電・省エネ活動、空調温度の集中管理						✓						✓	✓				
	部品・製品の輸送におけるモーダルシフト						✓						✓	✓				
製品の消費電力削減、バッテリー節約機能の搭載						✓			✓			✓	✓					
資源循環	使用済み製品リユースの拡大（認定整備済PC事業）										✓	✓						
	廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上、グリーン購入										✓	✓	✓					
	生産計画の精度向上、余剰部品の削減											✓						
	製品重量の削減、再生プラスチックの利用拡大								✓			✓						
	製品外装の塗装レス化、機銘板のレーザー刻印化											✓						
	製品に使用するプラ包装の削減、植物由来材料の採用								✓			✓		✓				
	製品含有化学物質の管理（有害物質不使用、ハロゲンフリー化）			✓			✓					✓						
製品の品質向上・堅牢化・長寿命化、修理サービス							✓				✓	✓						
自然共生	水使用量の管理・漏水の防止					✓												
	紙マニュアルから電子マニュアルへの切り替え推進											✓			✓			
	地域美化活動へ参加													✓				
	絶滅危惧種の蝶「オオルリシジミ」保護活動														✓			
社会貢献	リモートワークの推進、セキュリティの確保（ソコワク）		✓					✓	✓	✓								
	男性育児休暇取得の推進				✓			✓										
	お客様の環境負荷低減（環境配慮製品の販売促進）						✓	✓				✓	✓					
	環境情報の開示、障害者施設支援、学校の社会科見学				✓						✓							

5. カーボンニュートラルを目指して

産業革命以降の平均気温の上昇を1.5℃未満に抑える「1.5℃目標」達成に向け、世界は大きく動いています。

VAIO株式会社は、この「1.5℃目標」達成に向け、2030年度を目標年度とする温室効果ガス削減目標を2018年度比で50%削減することを環境経営方針に掲げ、2022年7月に国際的な気候変動イニシアチブである SBTi により「中小企業版 SBT※1」に認定されています。

安曇野本社・本社工場では、2023年7月より使用する全電力を再生可能エネルギー化、今後の事業拡大を見据えても2030年度のCO₂排出量50%削減を達成できる見込みです。

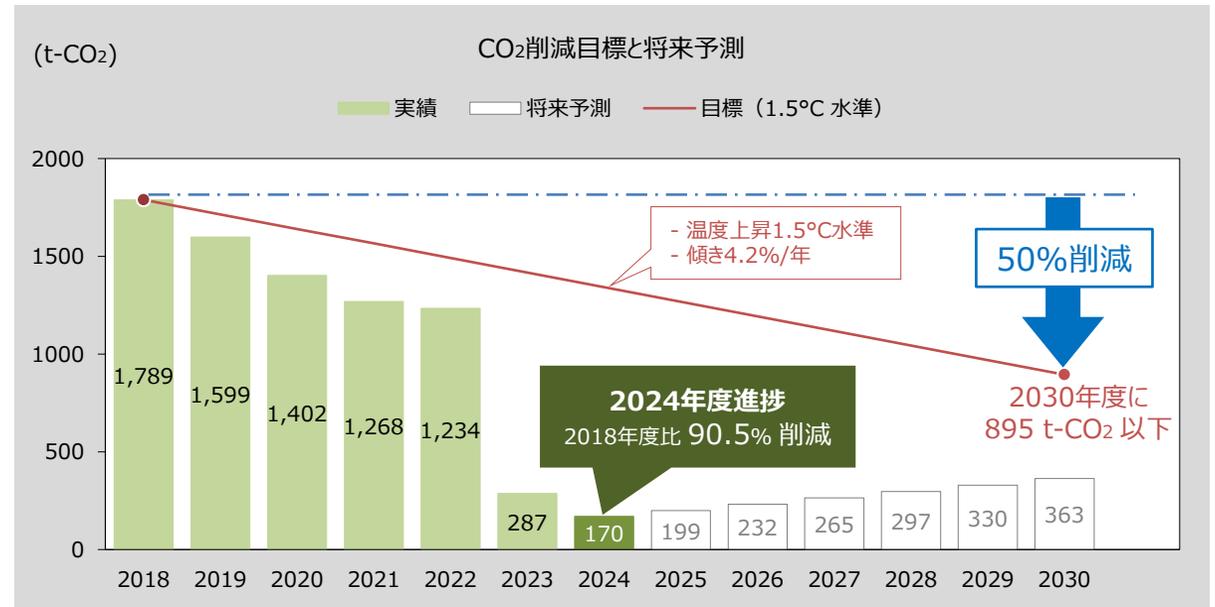


再生可能エネルギーの導入



https://vaio.com/news/co2free_230703/

CO₂削減目標と将来予測



※1 SBT: Science Based Targetsは、国際的な枠組みである「パリ協定」が求める水準と整合した温室効果ガス削減目標のこと

Scope3排出量の算定

VAIO株式会社では、カーボンニュートラルを目指し、自社の温室効果ガス排出量（Scope1,2）の把握・削減を進めています。しかし、カーボンニュートラルを達成するためには、自社の温室効果ガス排出量（Scope1,2）だけでなく、事業活動に関係する他社の温室効果ガス排出量（Scope3）も含めたサプライチェーン全体での排出量の把握・削減が必要となります。

VAIO株式会社では、2022年度よりScope3排出量の算定を開始しておりますが、2024年度においては、算定ルールの見直しを行い、2023年度（2023年4月～2024年3月）のScope3排出量を算定し、一般財団法人日本品質保証機構（JQA）による第三者検証を受けました。

項目	説明	Scope3排出量 (t-CO ₂)
		2023年度
Scope3 Cat.1 (購入した製品・サービス)	販売した製品や試作に必要な原料、部品、梱包材等の製造に伴う排出量	195,143.11
Cat.2 (資本財)	投資した施設・設備等の製造に伴う排出量	2,007.66
Cat.3 (Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動)	使用したエネルギーの採掘、製造、輸送に伴う排出量	219.71
Cat.4 (輸送、配送：上流)	製品製造に使う部品の輸送、保管倉庫への移動等に伴う排出量	353.47
Cat.5 (事業所から出る排出物)	発生した廃棄物処理に伴う排出量	35.46
Cat.6 (出張)	社員の出張に伴う移動やホテル滞在に伴う排出量	238.62
Cat.7 (通勤)	社員の通勤時の排出量	151.24
Cat.11 (販売した製品の使用)	製造・販売した製品・サービス等が想定される生涯の消費電力から推測した排出量	7,659.07
Cat.12 (販売した製品の廃棄)	販売した製品の廃棄・リサイクルに伴う排出量	45.08
合計		205,853.42

- Scope3 Cat.8,9,10,13,14,15は対象が無いため記載を省いています。

カーボン・オフセット・サービス

カーボン・オフセット / カーボン・オフセット・サービスとは

カーボン・オフセットとは、企業活動などで排出される温室効果ガスのうち、どうしても削減できない分を、他の場所で削減された温室効果ガスを排出権（クレジット）という形で購入して埋め合わせる仕組みです。

カーボン・オフセット・サービスとは、カーボン・オフセットを提供するサービスです。例えば、購入する商品のLCA（Life Cycle Assessment）で算定された温室効果ガス量（CFP: Carbon Footprint of Product）をオフセットするサービスを付帯して購入すると、その商品による温室効果ガス負荷を相殺できるため、購入者はその商品の購入・使用・廃棄における環境負荷を増やさないことになります。

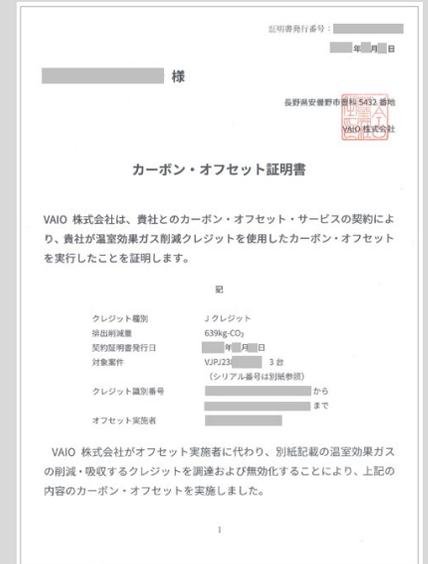
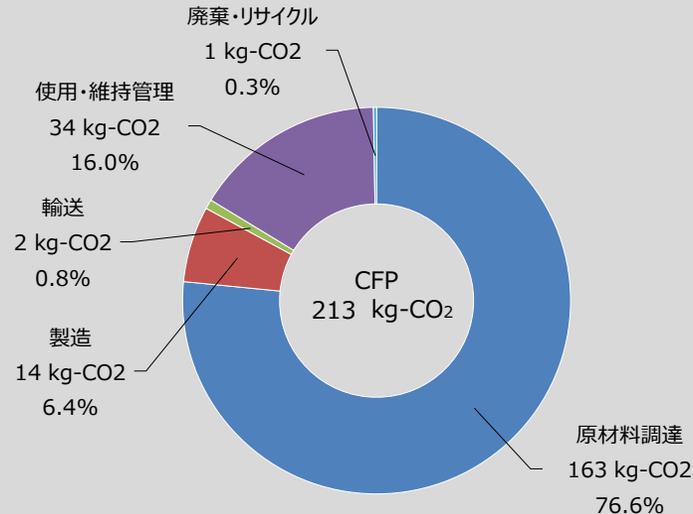
VAIO株式会社では、カーボン・オフセット・サービスを提供中

お客様が、VAIO PC をご購入いただく際にカーボン・オフセット・サービスの付帯を希望される場合、VAIO株式会社が、ご購入いただくPCのLCAで算定されたCFP総量分のJ-クレジットを購入し、そのJ-クレジットは国へ寄付・譲渡する等の無効化処理※を行います。

お客様へは、販売したPCのシリアル番号と無効化処理したクレジットを紐づけた「証明書」を提出いたします。

※ 国に寄付・譲渡することで、国のカーボンニュートラル実現に寄与することになります。

VAIO® Pro PJ (VJJP23)



6. 資源循環に向けて

Reborn VAIO™

VAIO株式会社は、法人のお客様向けに、メーカー保証付きリファービッシュPC「Reborn VAIO™」（販売後のVAIO PCを買い取り、厳格なVAIO独自基準で修理・整備のうえ、再生したPC）の販売を2025年8月21日より開始いたしました。「Reborn VAIO」を活用することで、循環型社会の実現に貢献できると共に、導入企業は新品のPCよりも部品原材料における温室効果ガス（GHG）排出量の削減に貢献できます。新品と比較すると、二酸化炭素換算で1台当たり約137kg-CO₂削減で、これは約59.8%※に相当します。

※ LCA算定による。新品のVAIO Pro PK（VJPK21）とReborn VAIO（VJPK21）を比較。

VAIO は設立以来、モバイルワーク向けのPCを販売し、ラインアップ全体を通じてみなさまが快適に、効率良く、何かを生み出し、さまざまなことに挑戦できるようサポートしてまいりました。2023年、その新たな選択肢として、「認定整備済PC事業」をまずは個人向けに開始し、この度、整備・販売等の体制を整え、メーカー保証付きリファービッシュPC「Reborn VAIO」と名称も新たに、法人向けにも展開する運びとなりました。

法人向けでも個人向け販売時と変わらず、天板やキーボード・タッチパッド等の外装部品やバッテリー等の内部部品の一部を新品と交換し、VAIO独自水準の動作試験を実施、メーカー保証1年をつけてご提供します。一定量を機種統一して導入することも可能です。

VAIOは安曇野本社工場でものづくりを礎に、今後もお客様ごとのニーズに答えつつ、環境負荷低減を図り、持続可能な社会づくりへの貢献を目指してまいります。

メーカーならではの品質を、特別価格で

Reborn VAIO™

(メーカー保証付きリファービッシュPC)

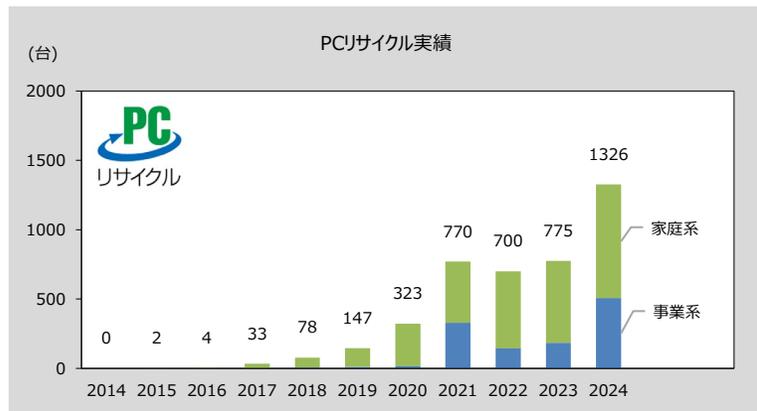
- ✓ 主要なパーツを新品と交換済み
- ✓ VAIO 安曇野本社工場での厳格な品質チェック
- ✓ メーカー保証付き



パソコンリサイクル

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、ご不要となった弊社製パソコンの回収・再資源化を行っています。

弊社製パソコンは「PCリサイクルマーク」を表示しておりますので、お客さまに新たな料金をご負担いただくことなく、弊社が回収・再資源化いたします。



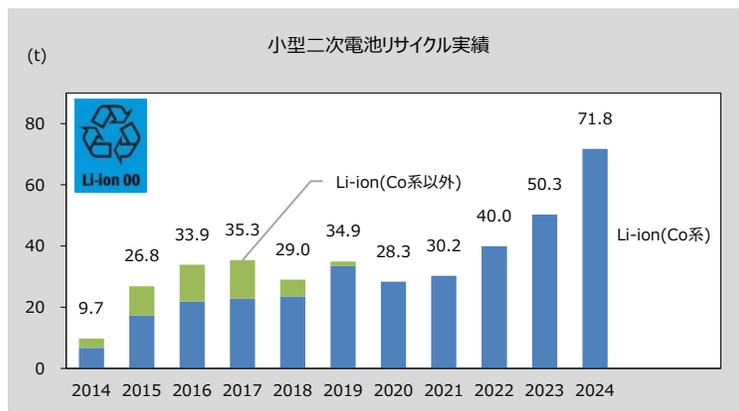
家庭系/事業系	回収・再資源化台数
事業系	507 台
家庭系	819 台
合計	1,326 台

VAIO株式会社は、一般社団法人 パソコン3R推進協会 の会員です。

バッテリーリサイクル

製品に用いられている充電式電池（バッテリー）には、リサイクル可能な希少金属材料が使用されています。

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、製品に搭載している充電式電池（バッテリー）の回収・リサイクルの推進に努めています。



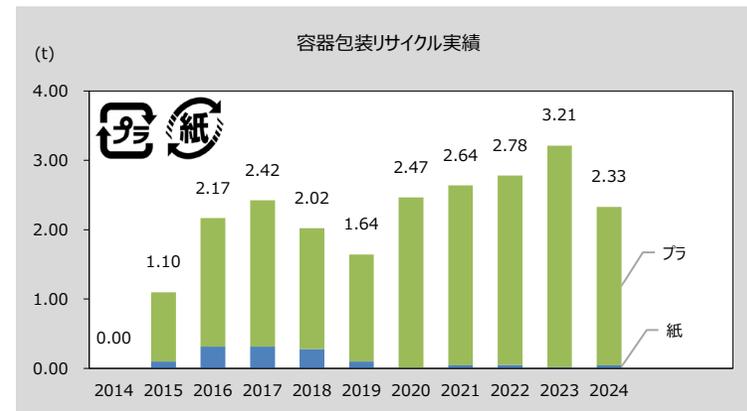
電池種別	リサイクル委託重量
Li-ion (Co系)	71.8 t
Li-ion (Co系以外)	0 t
合計	71.8 t

VAIO株式会社は、一般社団法人 JBRC の会員です。

容器包装リサイクル

VAIO株式会社では、「容器包装リサイクル法」に基づき、容器包装の再商品化の推進に努めています。

弊社製品に用いられている容器包装には、「資源有効利用促進法」に基づき、識別マークを表示しています。



素材	再商品化委託重量
紙製容器包装	0.05 t
プラスチック製容器包装	2.28 t
合計	2.33 t

VAIO株式会社は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 の会員です。

7. サイト環境活動

目標設定

CO₂排出量は、2018年度の実績値を起点として、2030年度までに半減させることを目標とした上で、各年度の目標を設定しています。

また、廃棄物排出量は、事業規模による変動があるため、売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに2016年度の実績を『100』として換算した原単位を用いています。2016年度を基準年度とし、2017年度以降は年2ポイントずつ削減することを目標としています。

2024年度の結果

取組項目	単位	2024年度		
		目標	実績	評価
CO ₂ 排出量の削減	t-CO ₂	1,342 以下	170	○
エネルギー使用効率の向上	重油換算kl/億円	0.844 以下	0.781	○
廃棄物排出量の削減	原単位	84 以下	68	○
リサイクル率の向上	%	90 以上	95.7	○
水道使用量の削減	m ³	14,891 以下	12,781	○
グリーン購入率の向上	%	90 以上	94.7	○

※原単位について：売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに、2016年度の実績を『100』として換算したものです。

※CO₂排出量の算定においては、温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度における、令和7年度提出用の排出係数を用いています。

CO₂ 排出量の削減

全社（安曇野本社・本社工場 + 東京本社他）

全社における「CO₂ 排出量」は、2024年度目標を大幅に達成しました。

取り組みとしては、

- CO₂フリー電力（再エネ100%）使用の継続
- ボイラーからエアコンへの切り替え、古いエアコンの更新、照明のLED化
- 製造工程における省電力化
- 全体空調機稼働の適正化
- 温度管理の徹底（冬20℃、夏28℃）、クールビズ・ウォームビズの推進
- 照明・エアコンの不要時OFFの徹底、OA機器の省電力設定

を実施しました。



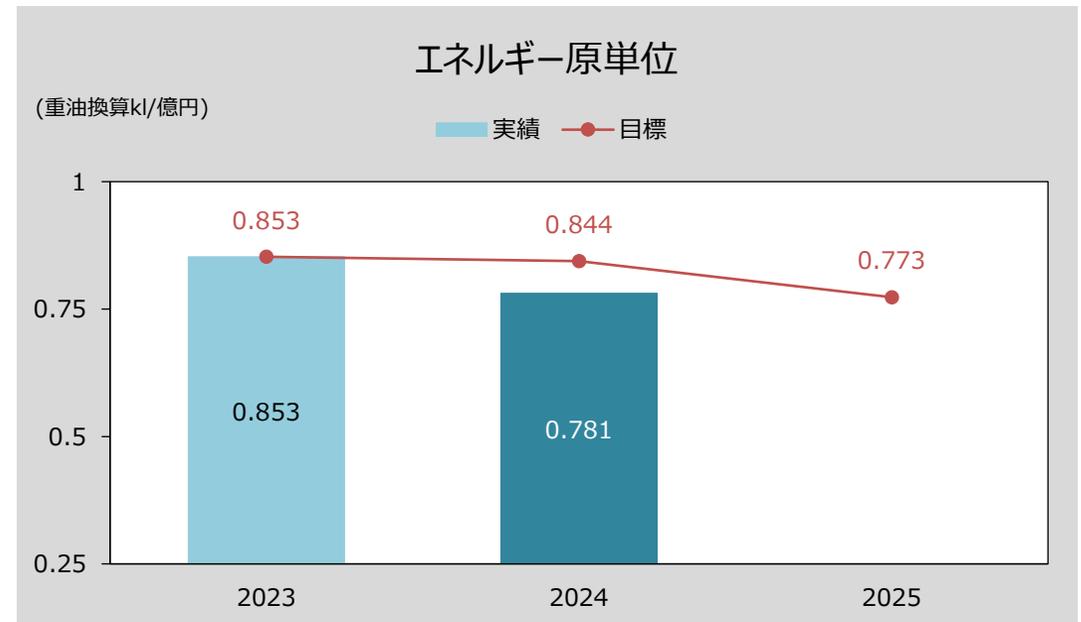
エネルギー使用効率の向上

安曇野本社・本社工場 + 東京本社

2023年7月から、使用する全電力を再生可能エネルギー化したことにより、CO₂ 排出量を大幅に削減することができました。

しかしながら、エネルギーの無駄遣いは資源の枯渇といった環境影響となるため、VAIOでは2024年度より、新たに「エネルギー原単位管理指標」を設定し、前年度比1%削減を目指すこととしました。

$$\text{エネルギー原単位 (重油換算kl/億円)} = \frac{\text{総エネルギー使用量 (重油換算kl)}}{\text{売上高 (億円)}}$$



廃棄物排出量の削減

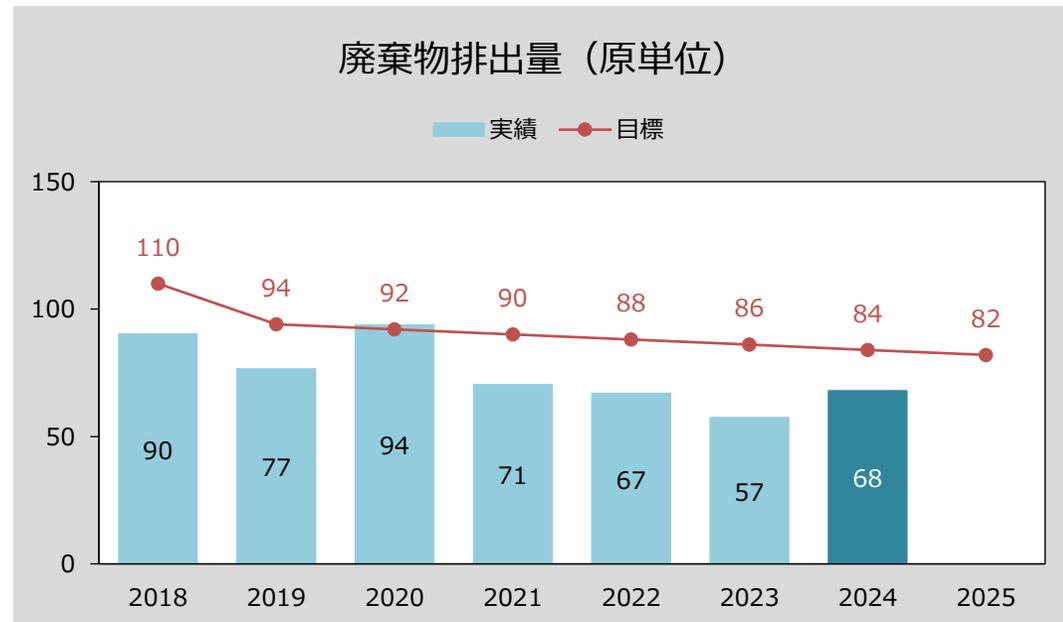
全社（安曇野本社・本社工場 + 東京本社他）

全社における「廃棄物排出量」は、2024年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 社内ホームページに廃棄物情報を掲載
- 分別徹底の推進（現場への表示・リサイクルステーション監視強化）
- 電子化・両面コピー・縮小コピー・裏紙使用の推進
- 廃棄物データ計量による排出量の監視
- 廃棄物の有価化推進

を実施しました。2024年度の廃棄物排出量：176.2t



リサイクル率の向上

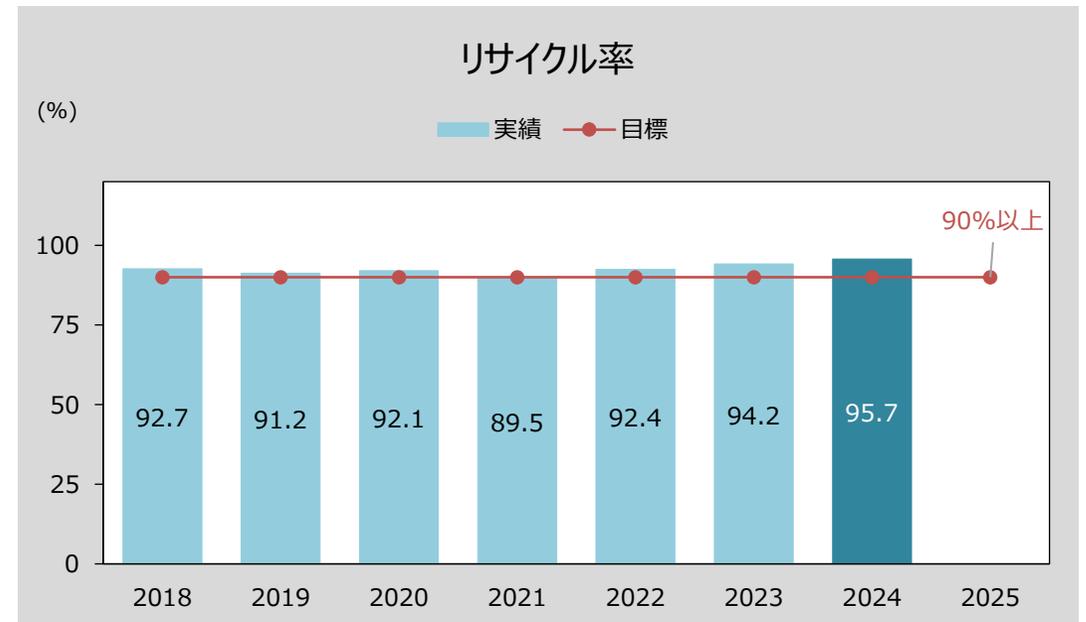
全社（安曇野本社・本社工場 + 東京本社他）

全社における「リサイクル率」は、2024年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 各職場に「リサイクルステーション」を設置
- 分別徹底の推進（リサイクルステーションの監視強化）
- 一般可燃物削減活動の継続および分別徹底の周知
- 廃棄物データ計量による排出量の監視

を実施しました。



水道使用量の削減

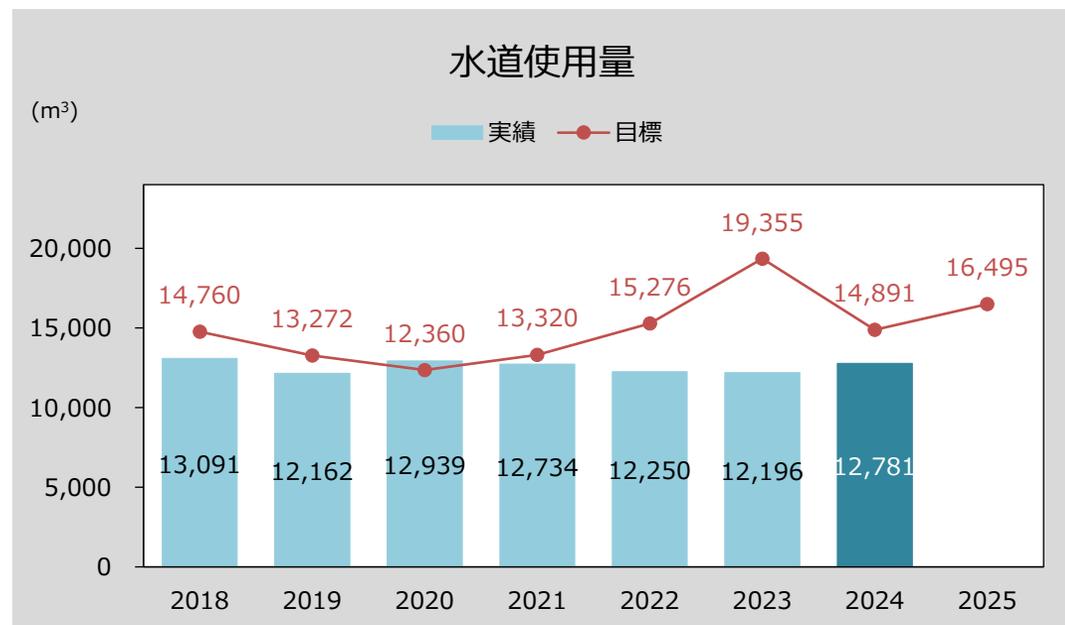
安曇野本社・本社工場

安曇野本社・本社工場における「水道使用量」は、2024年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 日常生活での節水の啓発
- 緑地帯散水時における地下水利用（夏季）
- 水道蛇口の水量調整を各所洗面台へ展開
- 水量データの計測・分析を行い、漏水の有無と漏水エリアの割り出しおよび改善

を実施しました。東京本社他においては、節水の啓発のみを実施しました。



グリーン購入率の向上

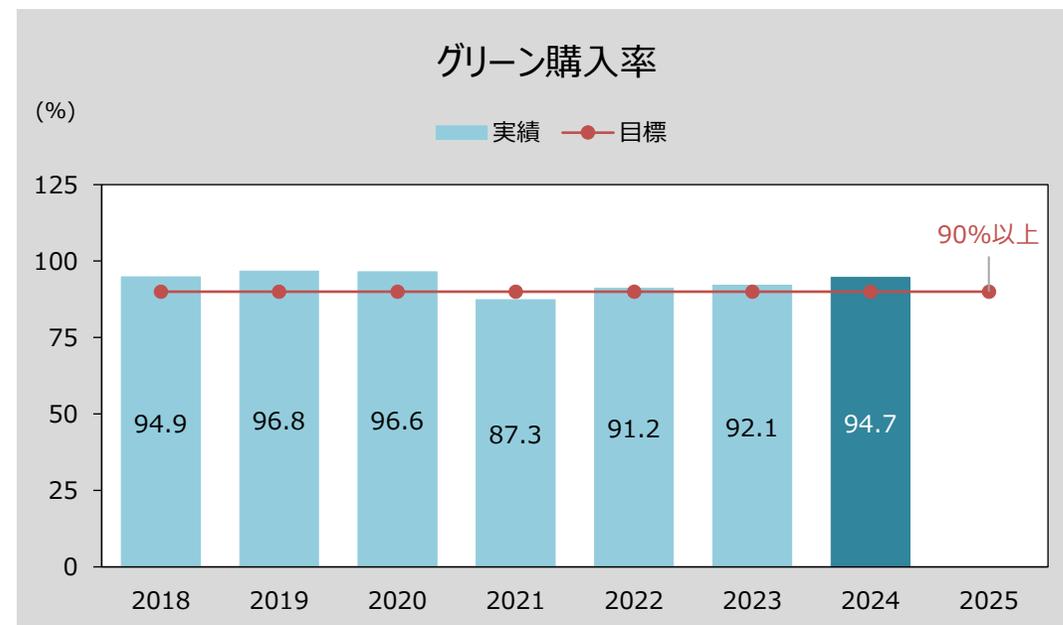
全社（安曇野本社・本社工場 + 東京本社他）

全社における「グリーン購入率」は、2024年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 購入依頼品がグリーン対象であるかの確認
- グリーン購入品目への変更検討（購入部門と調整）
- 月次でグリーン購入率を集計し、継続的に監視
- 可能な限りグリーン対象品を選定するよう社内アナウンス

を実施しました。



8. 製品環境活動

目標設定

PC製品においては、2020年度に2025年度を達成年度とした中期目標である「製品環境負荷低減目標2025」を策定し活動しています。

また、2025年度に至る各年度目標は、2025年度目標をバックキャストして設定しています。

2024年度の結果

活動テーマ	取組項目	2024年度		
		目標	実績	評価
エネルギー使用の合理化	省エネ基準の達成※1	基準達成率100%以上	10区分 103.7%※1 12区分 174.3%※1	○
	オフモード消費電力の削減※2	0.5W以下	0.26W※2	○
資源の有効利用	製品本体への再生プラスチック使用量の向上※2※3	6.0%以上	10.7%※2※3	○
	包装材におけるプラスチック使用量の削減※4	2020年度比30%以上削減	80.5%削減※4	○
製品のLCA	LCA結果の公開	前年度LCA結果の公開	「環境経営レポート2023」にて公開	○
	LCAの実施	VAIO SX14-R / VAIO Pro PK-RのLCA実施	VAIO SX14-R / VAIO Pro PK-RのLCAを実施し、CFP算定を完了	○
	LCAの第三者検証	EPD※5の取得	上記モデルのEPD※5を取得	○

※1 省エネ法2022年度基準における区分別の達成率（過去モデルを含む2024年度に販売したモデルの販売台数による加重平均値）

※2 2024年度モデルの平均値です。

※3 機器本体に使用されるプラスチック全重量（プリント基板、電子部品、ケーブル、コネクタ、光学部品を除く）中に含有する再生プラスチックの重量比です。プレコンシューマ材料及びポストコンシューマ材料だけを再生材とみなします。2025年度までに再生プラスチック使用率10%以上を目標としています。2020年度（基準年度）のプラ包装重量は、12インチ：42g 13インチ：21g 14インチ：27g 15インチ以上：102g です。

※4 梱包材におけるプラスチック使用量は、2025年度までに2020年度モデル比30%以上削減を目標としています。

※5 EPDは「Environmental Product Declaration」の略称で、国際規格であるISO14025に準拠する「タイプIII環境ラベル」です。

製品環境アセスメント

VAIO株式会社では、製品における環境配慮設計の実現と環境法規制等の順守に向け、「製品環境アセスメント」を実施しています。

製品環境アセスメントは、設計部門が行う商品化プロセスにおいて、環境目標設定 (Plan)、環境配慮設計(Do)、環境対応・環境法規制順守確認(Check)、および結果のレビュー (Action)のすべての段階で活用することができるものです。

2024年度も、全モデルの製品環境アセスメントを実施し、環境目標の達成度、自社基準および環境法規制等の順守状況を確認・評価しています。



VAIO® SX14-R (VJS4R1)
VAIO® Pro PK-R (VJPKR1)



VAIO® Pro PK (VJPK24)



VAIO® S13 (VJS136)
VAIO® Pro PG (VJPG32)

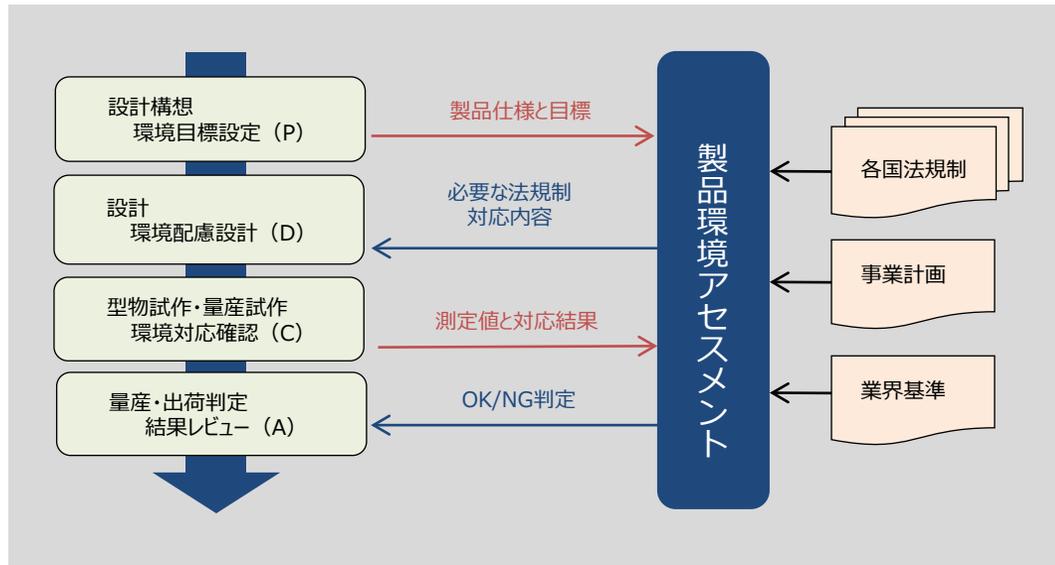


VAIO Vision+® 14 (VJS4R1)
VAIO Vision+® 14P (VJPKR1)



VJ8PD65W4

VAIO株式会社における商品化プロセスと製品環境アセスメントの役割



製品環境アセスメントにおける評価項目

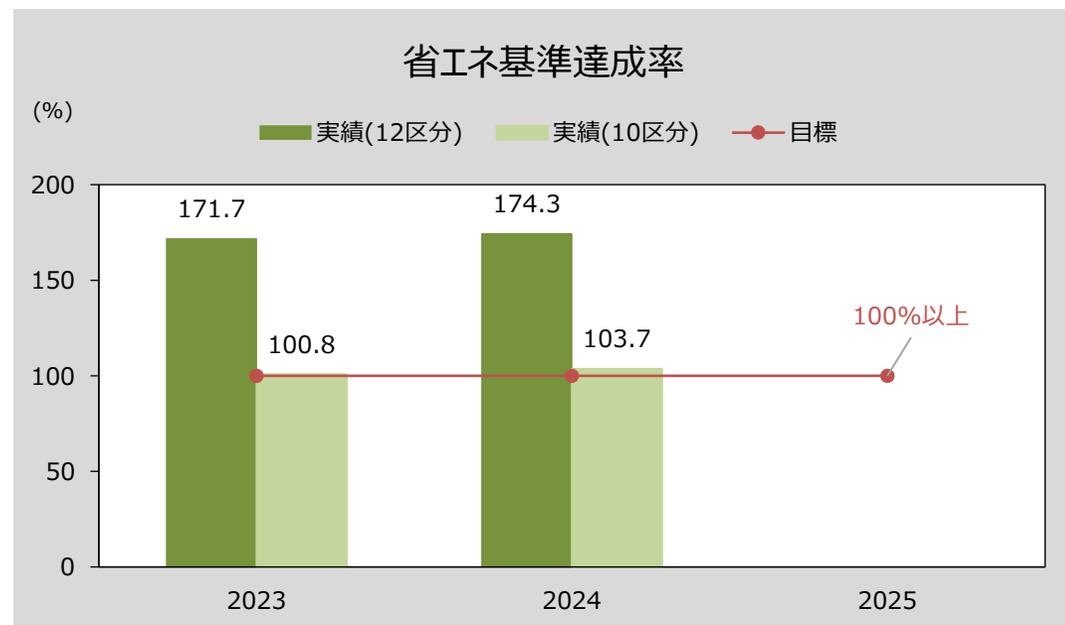
1. 環境関連物質の管理
 - 1.1 ハロゲンフリー対応
 - 1.2 PVCフリー対応
 - 1.3 アレルギーへの配慮
 - 1.4 シックハウス症候群への配慮
 - 1.5 電池の環境管理物質管理
 - 1.6 水銀フリー対応
 - 1.7 化審法・CLP
 2. 3R推進
 - 2.1 リデュース
 - 2.2 リユース
 - 2.3 リサイクル
 3. 省エネルギー
 - 3.1 ACアダプターの国際効率レベル
 - 3.2 搭載している省電力機能
 - 3.3 オフ時消費電力
 - 3.4 年間消費電力
 - 3.5 バッテリーライフ
 4. 包装
 - 4.1 包装材料
 - 4.2 印刷用インク
 - 4.3 包装材の廃棄容易性
 - 4.4 包装材重量・サイズ
 5. 取説・情報提供
 - 5.1 開示情報と説明内容
 - 5.2 附属書類 (紙・インク・重量)
- 各仕向け法規制確認
- ・本体表示
 - ・取説表示
 - ・包装表示
 - ・認証と登録
 - ・環境管理物質

省エネ基準の達成

2024年度の「省エネ基準達成率※」は、年度目標である100%以上に対し、12区分では目標を大幅に上回る174.3%を達成、10区分でも103.7%を達成しました。

- CPU省電力機能の確実な実装により、無駄な電力消費をギリギリまで抑えるパワーマネジメントが可能です。
- 低消費電力LCDの採用など、省電力デバイスを積極的に採用しています。
- モダンスタンバイというスリープモードに対応しており、PC使用時、何も操作をしないと10分以内に自動的にスリープモードへ移行。スリープ中は最大限の省電力化をしており、無駄な電力を削減できることから長時間バッテリー駆動に貢献します。

※省エネ法2022年度基準における区分別の達成率。

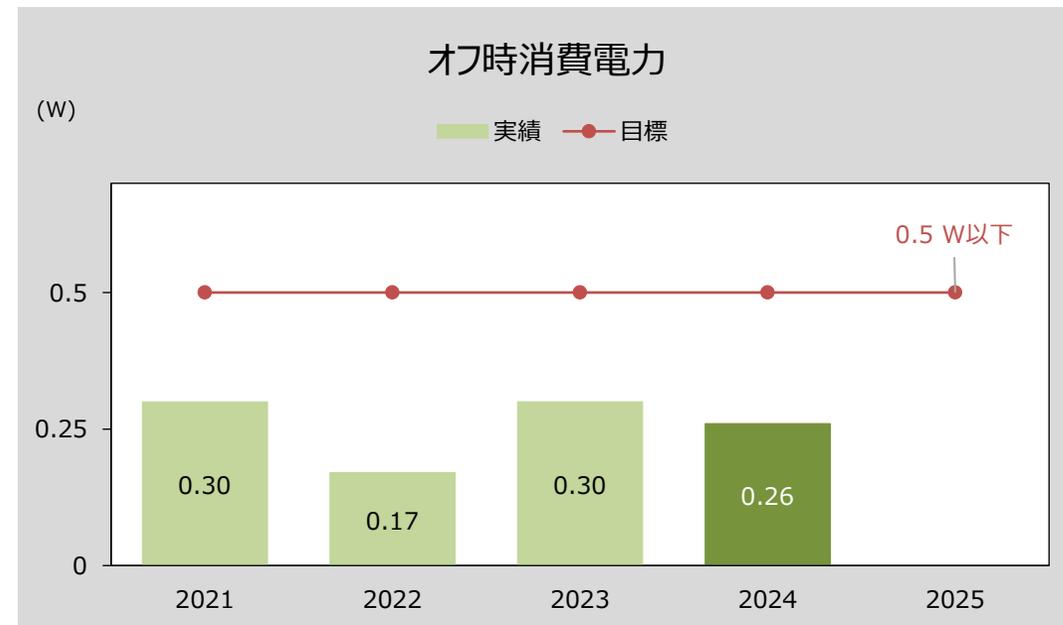


オフ時消費電力の削減

2024年度モデルの「オフ時消費電力※」は、年度目標である0.5W以下を大きく下回る0.26Wを達成しました。

- 電源オフ時のリーク電流確認。
- 電源オフ時のEC省電力機能の実装。
- 次世代半導体と呼ばれるGaN（窒化ガリウム）パワー半導体を採用した高効率ACアダプターも新規開発。

※2024年度モデルの平均値です。



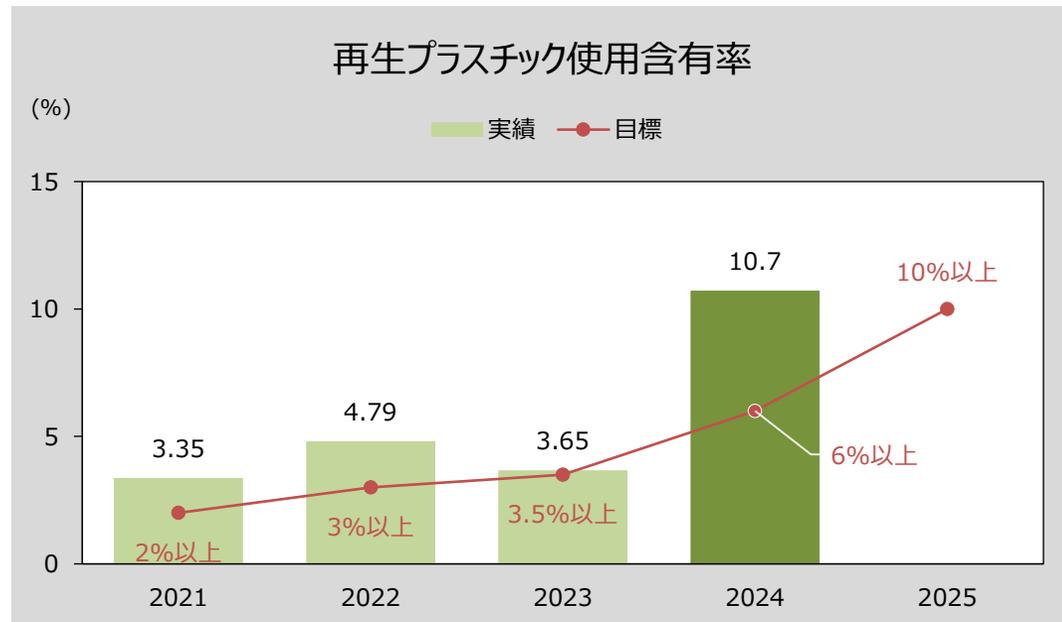
再生プラスチックの使用量向上

2024年度モデルの「再生プラスチック使用含有率※」は、年度目標である6.0%以上を大きく上回る10.7%を達成しました。



- 原油から作る新品（バージン材）ではなく、再生材を含有する再生プラスチックを大物部品（ボトムケース等）から小物部品（ヒンジカバー等）まで使用することを進め、循環型社会の実現を目指します。
- 無塗装化は、塗装工程（塗装～乾燥）による、温室効果ガス削減や、塗料に含まれる有機溶剤（VOC：揮発性有機化合物）による環境汚染の低減に貢献できます。

※2024年度モデルの平均値です。再生プラスチック使用部位はモデルにより異なります。



製品の長寿命化

● 高品質なノートPCだから、長く使える

製品の開発過程で各種品質試験を実施し、製品の安全性・堅牢性・耐久性を評価。さらに、専任の技術者の目と手で行われる品質チェックにより、高品質を追求。「安曇野FINISH」で徹底した品質管理を行い、初期不要の発生を最低限度に抑えています。

● キートップ摩耗による印字剥がれを防止

長期間使用してもキートップの印字が消えにくい、レーザー刻印を採用※。特別配合したUV硬化塗装によりキートップの防汚性を向上させました。

※2025年8月現在販売中モデル

● 内蔵バッテリーの劣化を抑える設計

フル充電状態を維持し続けると劣化し、寿命が短くなる内蔵バッテリーを長く使えるようにする「いたわり充電モード」を進化させました。

● 再配備を考慮した保守サービス

天板やパームレストなどの、汚れやテカリ、傷、日焼けで劣化した外装を新品にリペアする外装交換サービス、新品バッテリーパックへ交換するバッテリー交換サービスを用意しています。



高品質なノートPCだから、長く使える

VAIO株式会社では、製品の開発過程で過酷な品質試験を実施し、製品の安全性・堅牢性を評価しています。

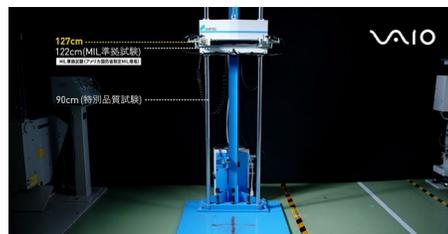
品質の向上により、修理時の環境負荷削減や、製品の長寿命化により廃棄物の削減につながります。

モバイルノート向け 品質試験の例



天面・裏面の計2面の落下試験について、アメリカ国防総省制定 MIL規格* (MIL-STD-810H Logistic Transit Drop Test) を超える127cmからの高高度落下試験などによって、これまで以上の堅牢性を証明しています。

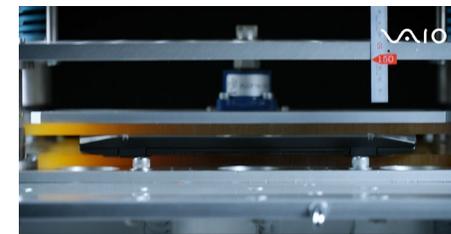
* MIL規格(MIL-STD-810H)に基づいて、一部当社が設定した試験条件に従い試験し、基本機能に動作欠損無き事を確認しています。信頼性データの収集のため実施しているものであり、落下、衝撃、振動または使用環境の変化などによる無破損、無故障を保証するものではありません。



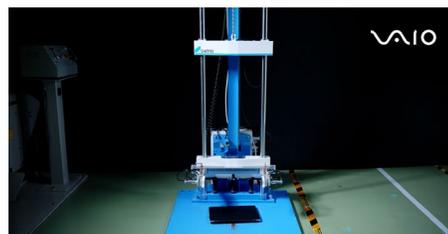
127cm落下試験



キーボード水かけ試験



加圧振動試験



90cm落下試験



液晶限界開き試験



角衝撃試験



液晶ハウジング加圧試験



ペン挟み試験



本体ひねり試験

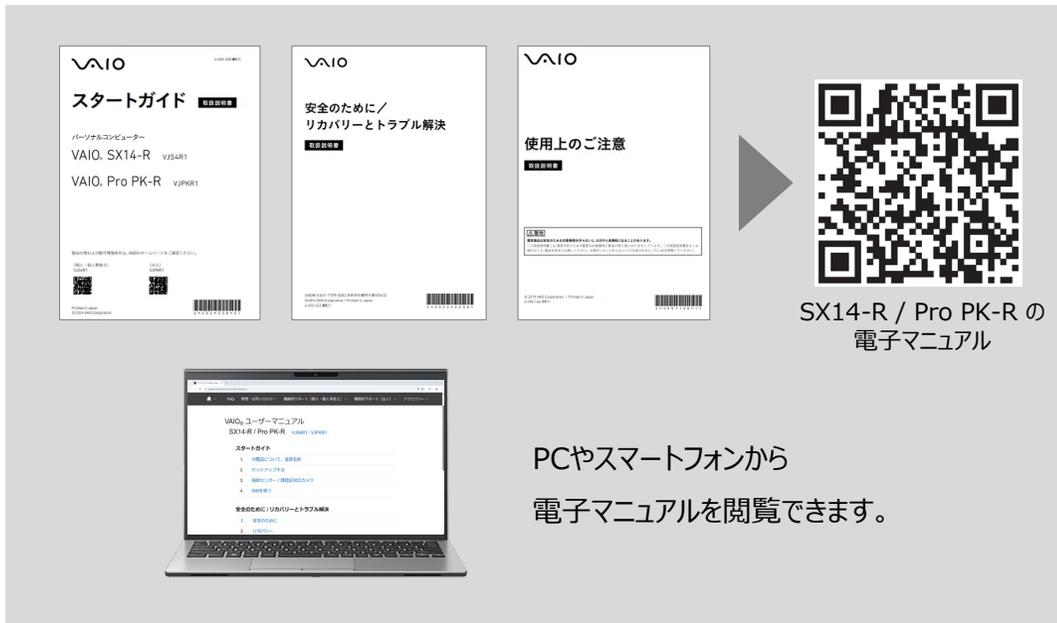
詳細は、弊社ホームページ「品質試験」をご覧ください。 ▶ <https://vaio.com/quality/qualitytest/>

マニュアルの電子化

これまで、マニュアルは紙に印刷した紙マニュアルを製品に付属しておりましたが、マニュアルの電子化を進めています。

お客様はご購入の際に紙マニュアルか電子マニュアルを選択することもできます。

- 電子マニュアルは、いつでもオンラインで閲覧可能です。また、PCのみでなく、お持ちのスマートフォンからも閲覧できます。
- 紙資源の節約、森林の保護につながります。
- 印刷工程で発生する環境負荷低減に貢献できます。



プラ袋の削減

紙マニュアルを選択されたお客様のために、マニュアルを入れる袋を、プラ袋から紙封筒に変更しています。

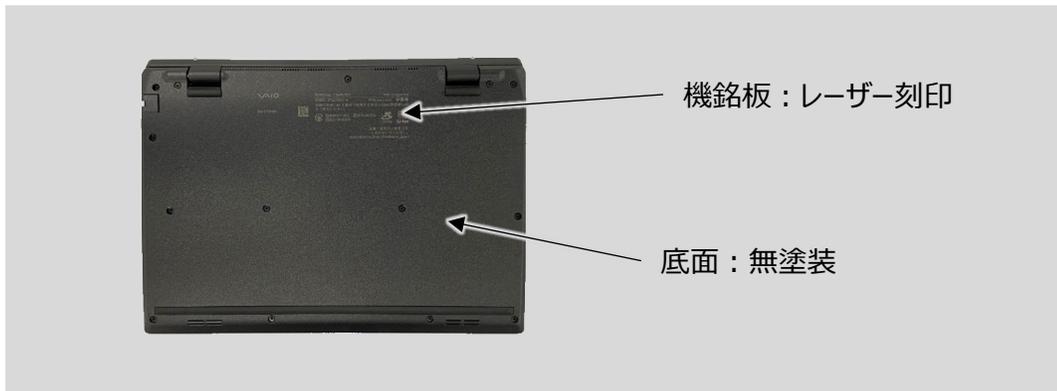
※特別仕様モデルは除きます。

- プラスチック包装材使用量の削減につながります。
- 海洋プラスチック汚染の軽減に貢献できます。



筐体のリサイクル性向上

2025年3月発売開始の VAIO S13 / VAIO Pro PG では、筐体底面は無塗装でかつ機銘板を従来のラベルからレーザー刻印へ変更、部品コストや資源の節約だけでなく、リサイクル時にラベルを剥がす必要がないなど、リサイクル性も向上させました。



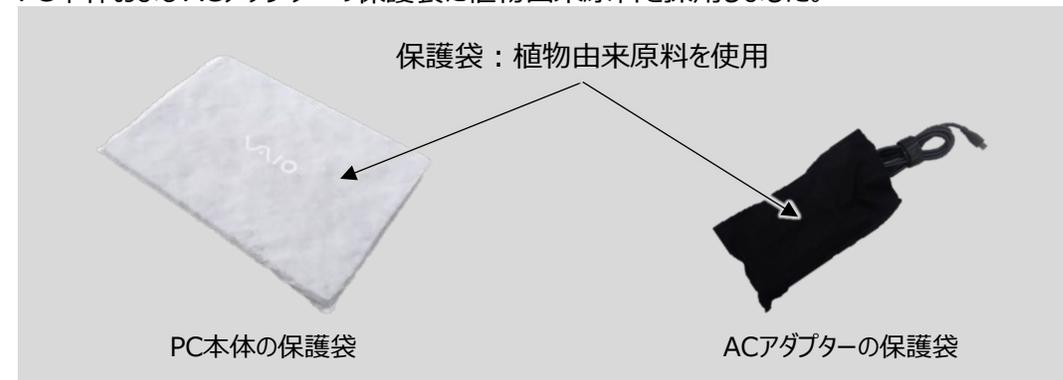
2024年7月発売開始の VAIO Vision+ 14 / VAIO Vision+ 14P の背面および2024年11月発売開始の VAIO SX14-R / VAIO Pro PK-R の天面・底面に、熱可塑性カーボン（CFRTP※）を使用、リサイクルした場合の強度保持率が75%以上であることを確認しています。 ※CFRTP:Carbon Fiber Reinforced Thermo Plastics



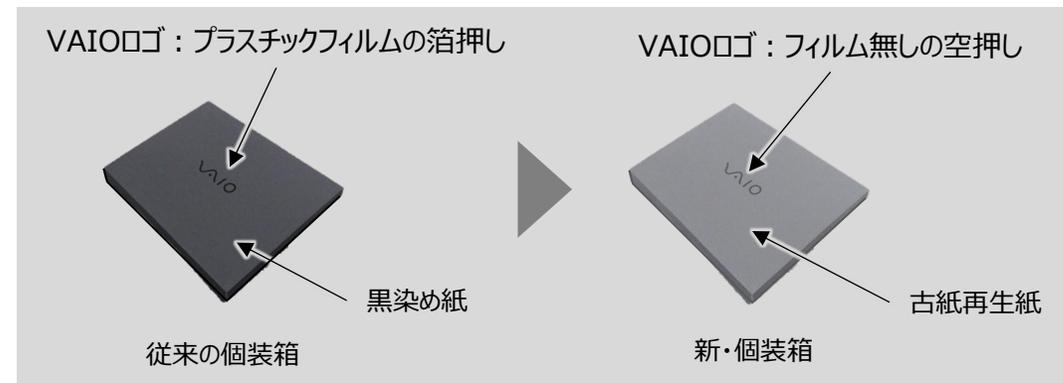
包装における環境への取り組み

2024年11月発売開始の VAIO SX14-R / VAIO Pro PK-R では、プラスチック包装材の使用ゼロ※を達成しました。 ※特別仕様モデルは除きます。

PC本体およびACアダプターの保護袋に植物由来原料を採用しました。



2024年11月発売開始の VAIO SX14-R / VAIO Pro PK-R では、個装箱のVAIOロゴをプラスチックフィルムの箔押しから、プラスチックフィルム無しの空押しへ変更しました。また、個装箱の表面に使用していた黒く染めた紙を古紙再生紙に変更し、リサイクル性も向上しています。



“軽さだけじゃない” 実駆動時間の拡大

- ノールック節電とバッテリー節約設定で実駆動時間をより長く
- いたわり充電も 90% or 80% で設定可能

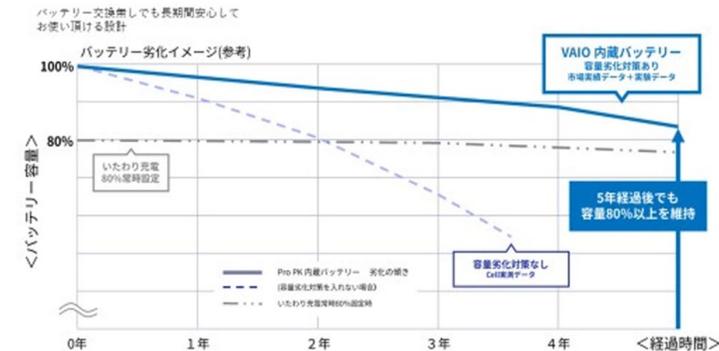
必要な時に、必要な場面で賢く使う

バッテリーを賢く使い実駆動時間を長く

いたわり充電／劣化対策



※AIビジョンセンサー搭載9.2MP(4K)カメラ選択時のみ



ノールック節電は一定時間画面を見ていないと自動的に画面の輝度が暗くなり、バッテリー消費を抑えます。また画面を見ればすぐ復帰するので、わずらわしさもありません。

VAIO独自のチューニングによりシステムの電力消費を、負荷状況に合わせて制御することで、バッテリー駆動時の消費電力を節約。消費電力の大きなオンライン会議においても効果を発揮します。

バッテリー劣化対策により長く使える「いたわり充電モード」搭載、90% or 80%※ を選択可能です。
※旧モデルは 80% or 50%

また、VAIO独自の充電制御により、上記モードを不使用時にも劣化を抑える対策が入っています。

ライフ・サイクル・アセスメントの第三者検証（EPDの取得）



SuMPO EPD
タイプIII環境宣言（EPD）

登録番号：JR-BF-25001E

SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
KANDA SQUARE GATE
https://ecoleaf-label.jp

VAIO株式会社

VAIO SX14-R, VAIO Pro PK-R



算定単位

製品1台あたり

算定対象段階

最終財 中間財

原材料調達、生産、流通、使用、廃棄段階

登録番号 JR-BF-25001E

適用PCR番号 PA-520000-BF-04

PCR名 対象製品：IT 機器

公開日 2025年7月1日

検合格日 2025年6月25日

検証方式 個別検証方式

検証番号 JV-BF-25001

検証有効期間 2030年6月25日

PCRLビューの実施

認定日時 2023年 8月 15日

委員長 山岸 健

所属：一般社団法人サステナブル経営推進機構

第三者検証者*
外部検証員 阿藤崇浩

ISO14025に從った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の
名前を記載。

製品の型式、主要仕様・諸元

型式：VAIO SX14-R（個人向け）
VAIO Pro PK-R（法人向け）

CPU:インテル® Core™ Ultra 7 155H プロセッサ、
Performance-core:1.4GHz(最大4.8GHz)

メインメモリ：16GB

ストレージ：SSD(NVMe 暗号化機能付き) 2TB

ディスプレイ：14.0型ワイド(16:10)WQXGA 2560×1600ピクセル

本体重量：約1.1kg

想定使用期間：4年

※本製品は日本・海外に販売されます。

問い合わせ先

VAIO株式会社

TEL 0263-87-0810（代表）

登録番号：JR-BF-25001E



SuMPO EPD
タイプIII環境宣言（EPD）

登録番号：JR-BF-25001E

SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
KANDA SQUARE GATE
https://ecoleaf-label.jp

ライフサイクル影響評価結果

	原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	廃棄段階	境界外	
気候変動-合計	kg-CO ₂ eq	2.8E+02	4.5E+00	3.9E-01	2.9E+01	1.3E+00	0.0E+00
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	3.9E-05	2.6E-07	1.6E-11	1.7E-06	7.9E-09	0.0E+00
富栄養化	kg-PO ₄ -eq	1.6E-02	5.3E-07	1.8E-09	3.5E-06	1.5E-06	0.0E+00
酸性化	kg-SO ₂ eq	3.6E-01	4.3E-03	5.1E-04	2.9E-02	9.6E-04	0.0E+00
陸化学キジラント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.1E-02	7.4E-05	3.4E-06	4.9E-04	5.6E-06	0.0E+00

ライフサイクルインベントリ分析関連情報

一次資源の使用に関する指標

	原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	廃棄段階	境界外	
再生可能一次資源 - エネルギー (RPR _e)	MJ	1.4E+03	4.3E-01	2.1E-03	2.9E+02	1.3E+00	0.0E+00
再生可能一次資源 - 材料 (RPR _m)	MJ	2.7E+01	7.7E-04	3.6E-06	5.1E-03	1.3E-04	0.0E+00
非再生可能一次資源 - エネルギー (NRPR _e)	MJ	5.5E+03	1.3E-02	4.2E+00	8.9E+02	5.4E+00	0.0E+00
非再生可能一次資源 - 材料 (NRPR _m)	MJ	8.7E+02	5.3E-02	1.4E-05	3.5E-01	4.7E-02	0.0E+00

非生物資源-化石燃料、淡水の消費量、CO₂の排出量および除去量

	原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	廃棄段階	境界外	
必須項目							
非生物資源-化石燃料	MJ	4.6E+03	6.2E+01	5.2E+00	4.1E+02	3.8E+00	0.0E+00

廃棄物関連情報

	原料調達段階	製造段階	流通段階	使用・維持段階	廃棄段階	境界外	
有害廃棄物	kg	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00	0.0E+00	
無害廃棄物	kg	4.5E+00	1.4E-02	3.3E-04	9.1E-02	1.4E-01	0.0E+00

算定結果に関する追加情報

使用時電力は、国内販売の場合には「JISC62623:2014 パーソナルコンピュータの消費電力測定方法」、販売先が海外の場合には、Energy Starの規定である「Computers Specification Version 8.0」に定められた計測方法により測定し、国内、海外の販売台数で加重平均した消費電力を用いて算定しました。また、円建てで収集された1次データは、為替変動の影響を受ける可能性があるため留意が必要です。

その他の環境関連情報

*本製品の生産はISO14001認証取得工場にて行われています。
*米国EPA EnergyStar認証を取得しています。

材料および物質に関する構成成分

材料・物質（使用部分）	単位	割合
プラスチック（PC・ABS）ボタン、LCD 枠、ヒンジカバー	3.0	%
プラスチック（FRP・GFRP）ボトム・LCDパネル	12.6	%
その他のプラスチック（テフロン、シリコン、ゴム、PETシート等）	1.1	%
リチウムイオンバッテリー	11.7	%
金属基板（メイン基板と子基板）	7.0	%
エポキシ樹脂（ネオボンド・カクマフ・ファンファン）	7.8	%
LCDパネル（LCD）	7.5	%
金属（鉄・SUS）（ブラケット）	1.7	%
アルミ（ヒートシンク）	3.5	%
磁石	0.0	%
非金属材料（銅・銅合金）ヒートシンク、ヒンジ、ねじ	4.3	%
ケーブル類（アンテナケーブル、WANケーブル）	2.0	%
PCドック	11.2	%
パッド・梱包材（包装）	17.7	%
紙（取扱説明書）	6.9	%
その他（繊維・セルロース系、ラバー）	1.8	%

有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等

使用した2次データの考え方

IDEAv3.4を使用した。

備考

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合のみ認められます。
(参照先URL: https://ecoleaf-label.jp/regulation/)



Climate宣言

EPD登録番号：JR-BF-25001E

※Climate宣言は温室効果ガスの排出量をCO₂換算値で示したものであり、EPDではありません。EPDはhttps://ecoleaf-label.jp/を確認してください。

SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE
https://ecoleaf-label.jp

VAIO株式会社

パーソナルコンピュータ
VAIO SX14-R/VAIO Pro PK-R

宣言単位・機能単位

製品1台あたり

システム境界

最終財 中間財

原材料調達、生産、流通、使用、廃棄段階



製品の型式、主要仕様・諸元

型式：VAIO SX14-R（個人向け）VAIO Pro PK-R（法人向け）

CPU:インテル® Core™ Ultra 7 155H プロセッサ、
Performance-core:1.4GHz(最大4.8GHz)

メインメモリ：16GB

ストレージ：SSD(NVMe 暗号化機能付き) 2TB

ディスプレイ：14.0型ワイド(16:10)WQXGA 2560×1600ピクセル

本体重量：約1.1kg

想定使用期間：4年

※本製品は日本・海外に販売されます。

PCR情報

PCR名 対象製品：IT 機器

PCRLビュー/パネ

認定日時 2023年 8月 15日

パネル委員長 山岸 健

所属：一般社団法人サステナブル経営推進機構

EPD検証情報

登録番号 JR-BF-25001E

適用PCR番号 PA-520000-BF-04

公開日 2025年7月1日

検合格日 2025年6月25日

検証方式 個別検証方式

検証番号 JV-BF-25001

検証有効期間 2030年6月25日

検証 内部 外部

検証員 阿藤崇浩

GWP（カーボンフットプリント）

ライフサイクル段階	内訳	単位	割合
原材料調達段階	2.8E+02	kg-CO ₂ eq	89%
製造段階	4.5E+00	kg-CO ₂ eq	1%
流通段階	3.9E-01	kg-CO ₂ eq	0%
使用・維持段階	2.9E+01	kg-CO ₂ eq	9%
廃棄段階	1.3E+00	kg-CO ₂ eq	0%
境界外	0.0E+00	kg-CO ₂ eq	0%
合計（境界外を除く）	3.1E+02	kg-CO₂eq	

算定に関する追加情報

使用時電力は、国内販売の場合には「JISC62623:2014 パーソナルコンピュータの消費電力測定方法」、販売先が海外の場合には、Energy Starの規定である「Computers Specification Version 8.0」に定められた計測方法により測定し、国内、海外の販売台数で加重平均した消費電力を用いて算定しました。また、円建てで収集された1次データは、為替変動の影響を受ける可能性があるため留意が必要です。

Climate宣言について

この宣言は、ISO14025に準拠したEPDを作成するために実施されたLCAの算定結果に基づき、地球温暖化影響（カーボンフットプリント）のみを切り出して開示した宣言です。カーボンフットプリント以外の指標が、地球温暖化への影響と同等又はそれ以上の重要性を持つ可能性があり、本宣言の解釈及びコミュニケーションには細心の注意が必要です。この数値は、検証済みデータの一部を切り出したもので、宣言そのものはSuMPO環境ラベルプログラムで検証を受けたものではありません。ISO14025に準拠したEPDは右のQRから確認してください。

EPDリンク

<https://ecoleaf-label.jp/epd/2340>

LCIデータ

IDEA Ver.3.4を使用した。

問い合わせ先

VAIO 株式会社 〒399-8282 長野県安曇野市豊科5432 電話: 0263-87-0810 (代表)

- 24 -

VAIO Pro PK-R / VAIO SX14-Rは、電子機器が環境に配慮して設計・製造されていることを示すEPEAT※1認証において、Silverを2025年7月に取得しました。



VAIO Pro PK-R (日本)

← RETURN TO SEARCH



COMPUTERS & DISPLAYS

VAIO Pro PK-R

Product Summary:

Product Type:	Notebook
Registered In:	Japan
Manufacturer:	VAIO Corporation
EPEAT Tier:	Silver
Registration Date:	2025-07-24
Product Status:	Active

All unique product identifiers existing for this product may not be listed here. If the unique product identifier you are looking for is not listed, please contact EPEAT at EPEAT@IEC.org.

[EXPORT PRODUCT SUMMARY](#)

EPEAT Tier Score Detail

For a product to be listed on the EPEAT Registry, it must, at a minimum, meet the applicable "required" criteria. [Click here](#) to see a list of the required criteria for this product category.

VAIO SX14-R (日本)

← RETURN TO SEARCH



COMPUTERS & DISPLAYS

VAIO SX14-R

Product Summary:

Product Type:	Notebook
Registered In:	Japan
Manufacturer:	VAIO Corporation
EPEAT Tier:	Silver
Registration Date:	2025-07-24
Product Status:	Active

All unique product identifiers existing for this product may not be listed here. If the unique product identifier you are looking for is not listed, please contact EPEAT at EPEAT@IEC.org.

[EXPORT PRODUCT SUMMARY](#)

EPEAT Tier Score Detail

For a product to be listed on the EPEAT Registry, it must, at a minimum, meet the applicable "required" criteria. [Click here](#) to see a list of the required criteria for this product category.

VAIO SX14-R (米国)

← RETURN TO SEARCH



COMPUTERS & DISPLAYS

VAIO SX14-R

Product Summary:

Product Type:	Notebook
Registered In:	United States
Manufacturer:	VAIO Corporation
EPEAT Tier:	Silver
Registration Date:	2025-07-24
Product Status:	Active

All unique product identifiers existing for this product may not be listed here. If the unique product identifier you are looking for is not listed, please contact EPEAT at EPEAT@IEC.org.

[EXPORT PRODUCT SUMMARY](#)

EPEAT Tier Score Detail

For a product to be listed on the EPEAT Registry, it must, at a minimum, meet the applicable "required" criteria. [Click here](#) to see a list of the required criteria for this product category.

※1 EPEATとは、Electronic Product Environmental Assessment Tool の略で、エレクトロニクス製品が環境配慮商品であることを示す認証です。

9. 生物多様性保全活動

オオルリシジミの保護活動

絶滅危惧種である草原の蝶「オオルリシジミ」の保護区が安曇野にあり、隣接する地区にも生息域を広げるべく、2020年10月より、安曇野本社・本社工場敷地、オオルリシジミの幼虫が唯一餌として食べるマメ科の多年草「クララ」の育成を行ってきました。

環境事務局メンバーで定期的に手入れや追加定植を行うことで、安定してクララが育つ環境が整ってきましたが、昨年（2024年）春にもオオルリシジミを発見することはできませんでした。

しかし、2025年春、管理団体である「安曇野オオルリシジミ保護対策会議」より、オオルリシジミの放蝶に関するお話をいただき、「安曇野市天然記念物 安曇野のオオルリシジミ 放蝶に係る覚書」の調印式を執り行い、オオルリシジミの「さなぎ」30匹の提供を受け、クララ生育場所付近に放蝶しました。

放蝶のやり方は、小石でかまどの様な囲いを作り、その中にさなぎを3つ置き、上から石で隙間を開けて蓋をするというものです。



オオルリシジミ放蝶に係る覚書の調印式

左：安曇野オオルリシジミ保護対策会議 代表 那須野 様
右：弊社 取締役執行役員常務 糸岡



オオルリシジミの「さなぎ」



オオルリシジミの放蝶

オオルリシジミの保護活動

放蝶して約4週間後の2025年5月19日、VAIO敷地内で初めてオオルリシジミが舞う姿を確認することができました。その後も約10日間に渡り、オオルリシジミの成虫を確認しています。



VAIO安曇野本社敷地内にて撮影

今後は、成虫（5月～6月） ▶ 卵（5月～6月） ▶ 幼虫（6月～7月） ▶ さなぎ（7月～翌年5月）

このサイクルで3年間モニタリング調査を実施していきます。

オオルリシジミの詳細に関しては、[国営アルプスあづみの公園のホームページ](http://www.azumino-koen.jp/horigane_hotaka/new/topics.php?id=2131)を参照してください。

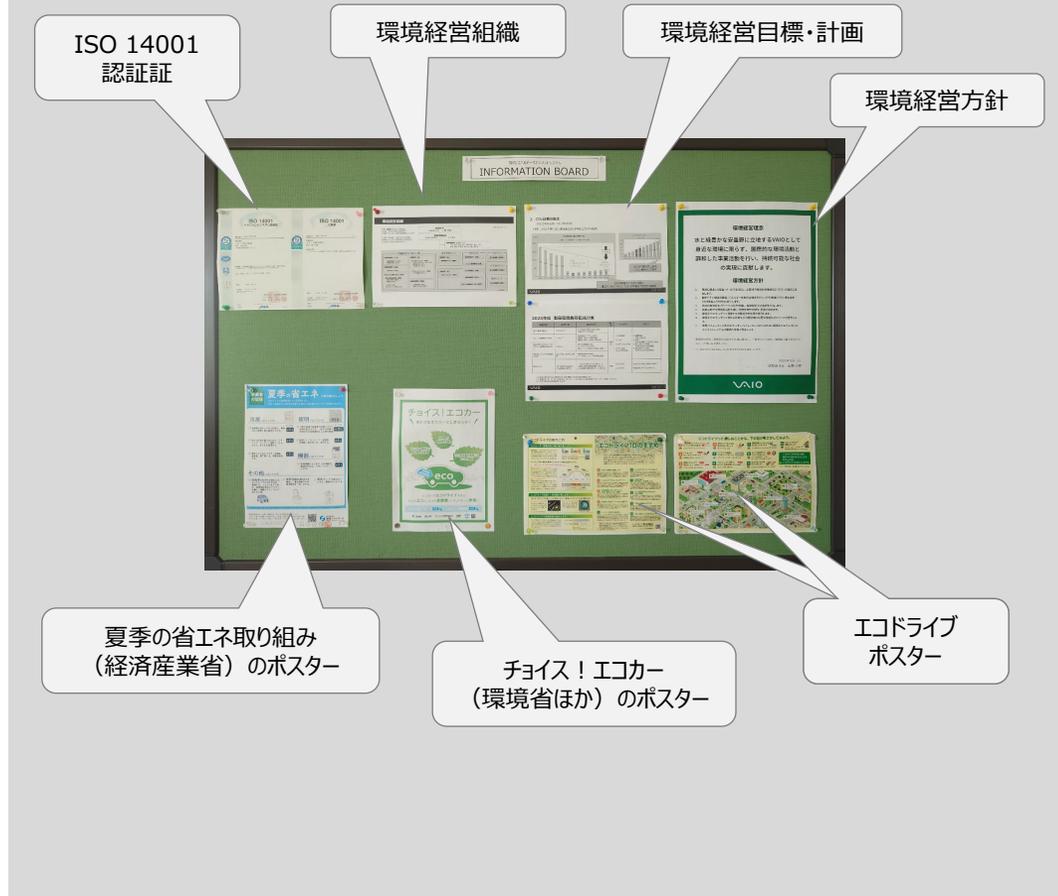
国立アルプスあづみの公園ホームページ ▶ http://www.azumino-koen.jp/horigane_hotaka/new/topics.php?id=2131

本活動にあたり、多大なるご指導をいただいた、那須野 雅好 様（安曇野オオルリシジミ保護対策会議 代表）、中田 信好 様（田淵行男記念館 館長）、中村 寛志 様（長野県生物多様性保全アドバイザー・信州大学名誉教授 農学博士）、百瀬 新治 様（岩原の自然と文化を守り育てる会 代表）、萩原 正朗 様（公益財団法人 日本自然保護協会 生物多様性保全部）には、この場を借りて御礼申し上げます。

10. 環境コミュニケーション

Information Board

VAIO株式会社では、全従業員が見ることができるように、社員食堂出口に「Information Board」を設置しています。



ISO14001ポータルサイト

VAIO株式会社では、従業員向けに「ISO14001ポータルサイト」を運用しています。

環境経営方針や手順書など、環境経営に必要な文書や記録などにすぐアクセスでき、内部コミュニケーションに大きく役立っています。



ホームページによる環境情報開示

VAIO株式会社における「環境配慮への取り組み」を、ひとりでも多くの方に知っていただくため、弊社ホームページに「環境情報」を掲載しています。

<https://vaio.com/environment/>



11. 環境教育・訓練

環境教育

EMS (ISO14001) 内部監査員養成コース (2024年6月)
新規内部監査員2人受講

違反事例から学ぶコンプライアンスシリーズ 環境編 (2024年6月)
環境事務局1人受講

令和6年度(第1回)工場・事業所における脱炭素セミナー (2024年6月)
ファシリティ担当者1人受講

JEITA責任ある鉱物調達 説明会2024 (2024年6月)
環境事務局5人受講

2024年度環境一般教育・小テスト (2024年9月～10月)
従業員392人受講

GLEC Framework Emission Report作成のための勉強会 (2024年10月)
環境事務局・オペレーション部門6人受講

GHG排出量Scope1,2,3 7ガス算定ルール策定について
(2024年10月、11月) 環境事務局5人受講

一般社団法人JBRC 会員ルール説明会 (2025年2月)
環境事務局1人受講

令和6年度「グリーン購入法」及び「環境配慮契約法」基本方針Webセミナー
(2025年3月) 環境事務局6人受講

2024新人研修－環境教育－ (2025年4月)
新入社員7人受講

訓練

安否確認訓練 (2024年6月)
従業員347人参加

緊急連絡網訓練 (2024年10月)
従業員352人参加

防災避難訓練 (2024年10月)
訓練時在館者464人参加

危険物倉庫入出庫者登録訓練 (2024年11月)
化学物質取扱者5人参加

EG棟緊急時対応訓練 (ばい煙発生、重油漏洩、高圧ガス漏洩、他確認)
(2024年12月) ファシリティ担当者4人参加

緊急連絡網訓練 (2025年3月)
従業員352人参加

危険物倉庫入出庫訓練 (2025年4月)
化学物質取扱者7人参加

12. 社会貢献活動

地域美化清掃活動 に49名が参加

「安曇野市豊科地区一斉清掃」にVAIOとして参加。
始業前の約30分間、会社周辺道路、公共施設でのゴミ拾いを実施。



2024年11月13日 49名参加

食堂廃油（天ぷら油）を障害福祉サービス施設へ提供

社員食堂から出る廃油“天ぷら油”を施設へ提供し、
資源として有効利用しています。

施設では、これらを家畜飼料に加工しています。



使用済ペットボトル・空き缶を障害者就労施設へ提供

社内から出る飲料用の“ペットボトル”および“空き缶”
を施設へ提供し、資源として有効利用しています。

施設では、これらを分別・減容・圧縮化し
リサイクル工場へ出荷しています。



13. 環境関連法規制等の順守評価

製品およびサイトに関係する環境関連の法令、規則、条例および利害関係者の要求事項に対する順守評価の結果、すべて順守していることを確認しました。

また、会社設立以来、違反、訴訟および勧告等の発生はありません。

※順守評価結果 ○：問題なし
△：是正中
×：問題あり

法規制	順守評価結果
大気汚染防止法	○
安曇野市公害防止条例	○
騒音規制法	○
長野県公害防止条例（地域指定の告示）	○
水質汚濁防止法	○
安曇野市地下水の保全・涵養及び適正利用に関する条例	○
高圧ガス保安法	○
消防法	○
温対法	○
オゾン層保護法	○
廃掃法（産業廃棄物）（特管廃棄物）（一般廃棄物）	○
工場立地法	○
長野県景観条例	○
安曇野市景観条例	○

法規制	順守評価結果
家電リサイクル法	○
資源有効利用促進法	○
建設資材リサイクル法	○
下水道法	○
フロン排出抑制法	○
プラ新法	○
省エネ法	○
利害関係者の要求事項（顧客）	○
利害関係者の要求事項（サプライヤー）	○
利害関係者の要求事項（ディストリビューター）	○
利害関係者の要求事項（従業員）	○
利害関係者の要求事項（株主）	○
利害関係者の要求事項（行政）	○
利害関係者の要求事項（地域社会）	○

14. 環境マネジメントレビュー

- **EMS が引き続き適切で、妥当で、かつ、有効であることに関する結論**

(環境責任者) わが社のEMSは引き続き適切で、妥当で、かつ、有効であると判断します。

- **継続的改善の機会に関する決定**

(環境責任者) ISO50001 (EnMS) は、運用中のISO14001 (EMS) 環境マネジメントシステムと統合し効率化を図ってください。

品質・環境・労働安全・エネルギーをひとつの部門で集中管理することで、持続可能性の高い経営に貢献する全体最適化を図って欲しい。

- **資源を含む、EMS のあらゆる変更の必要性に関する決定**

(環境責任者) 2025年はEMSに関わる組織のリソース確保として、総務・ファシリティ課に2名・環境推進チームに1名の人員追加を計画している。

- **必要な場合には、環境経営目標が満たされていない場合の処置**

(環境責任者) 2024年度は、台数・売上高・営業利益のすべてで過去最高を達成できた。環境経営目標も達成しているので、継続して取り組んで欲しい。

- **必要な場合には、他の事業プロセスへのEMS の統合を改善するための機会**

(環境責任者) 上記、継続的改善の機会に関する決定と同様。

- **わが社の戦略的な方向性に関する示唆**

(環境責任者) わが社のFY25事業方針のひとつとして「EPEATならびにISO等国际規格5種取得 (FY25~26)」を挙げている。

- **その他**

(環境責任者) 環境取組の全体像、ならびにEPEATやISOの認証を取得することの意義を全体会場で説明して欲しい。

ISO50001 (EnMS) の適用範囲は、安曇野本社・本社工場から開始し、将来的には東京本社や他オフィスへ拡張することを検討して欲しい。



「VAIO環境経営レポート2024」を最後までお読みいただきありがとうございます。

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、
身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、
持続可能な社会の実現に貢献します。

